

社会的事業者等訓練コース(社会的事業コース) 農村型地域福祉事業(介護)科 受講生募集のご案内



きっかけ、つくろう!

福祉サービス、農作物をつくる、加工する…

あなたの「始めたい! やってみたい!」が、きっとみつかります。

企業組合労協センター事業団 神奈川支店

はじめに

私たちは仕事おこしの全国ネットワーク、センター事業団です。

センター事業団(日本労働者協同組合センター事業団)は「働く人々・市民がみんなで責任を分かち合って、人と地域に役立つ仕事をおこす」協同組合です。現在、全国に12の事業本部・開発本部、250の事業所があり、「日本最大規模の仕事おこしのネットワーク」として、幅広い活動を展開しています。

センター事業では、都市・農村地域に必要な2つの事業「農業と福祉」を融合させた活動を「田園福祉事業」という名称で積極的に取り組んでいます。

事業団では、働く人ひとりひとりが主役。みんな平等な働き手です。

センター事業団には、上下という関係がありません。働く人ひとりひとりが責任を分かち合い、平等に組織を運営します。ですから前から参加した人、これから参加する人の区別はありません。みんなが主役の働く仲間です。

まず技能を身につける、それはあなたにとって一生の財産になります。

センター事業団では、私たちの考えに賛同し、農業と福祉の仕事おこしを行う人材を育てるために、さまざまな講座を企画しました。それが本資料で紹介する「基会訓練講座(農村型地域福祉事業(介護)科)」です。

農業や福祉の仕事に関心を持つ人はもちろん、なにか自分らしく働くきっかけをつかみたい人も、一生の財産になる技能を身につけるチャンスです。

ぜひ、皆さんの参加を心よりお待ちしております。

いま、なぜ“田園福祉事業”なのでしょう?

センター事業団では都市・農村地域の元気を守る、育てる“田園福祉事業”に取り組んでいます。

いま、日本の農村地域はさまざまな問題をかかえています。

それはなによりも「人が増えない、減っていく」ということ。だから高齢化が進み、農地はあっても耕す人がいない(耕作放棄地)、そんな悪い循環におちいっています。本来なら自然に恵まれ、住みたい人も多いはずの農村部がいろいろな意味で危機を迎えているのです。

それは実は地域の商店街も同じです。人が減って、高齢化が進むから商店を経営する人が減っていく、その結果がよくいわれる「シャッター=商店街」です。

つまり農村地域も、商店街も、人=働き手がないというまったく同じ問題をかかえているのです。

働き手を増やすには、都市・農村地域に合った「働けるしくみづくり」が必要。そのしくみが「田園福祉事業」です。

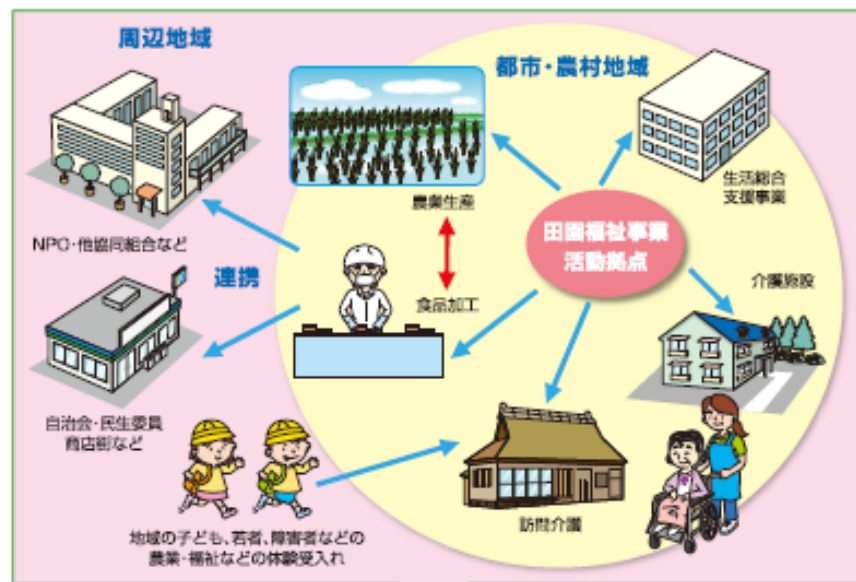
自分らしく働ける場所さえあれば、自然豊かな農村地域で暮らしてみたい。そう考える方もたくさんいます。特に首都圏の一部である神奈川県では、農村地域の近くに商業施設なども数多くあるため、買い物などで不便を感じることは少ないといえるでしょう。

この「働ける場所としくみ」について、私たちはシンプルに考えました。耕す人がいなければ、その土地が着りて耕せばいい。そして高齢化が進む地域では、介護など福祉関連の仕事に対する需要が高い。

この2つを結びつけ1つのグループの中で農業をする人と、介護など福祉の仕事をする人が、お互いに地域のことを考えながら盛り上げていく。そんな仲間が集まるからできること、グループの知恵とパワーで仕事をおし進めていくことが「田園福祉事業」という考えです。

「田園福祉事業」がめざすものとは

センター事業団では「田園福祉事業」を、都市・農村地域を元気にする「働き方のモデル」として、県内はもとより、日本全国に広めていきたいと考えています。



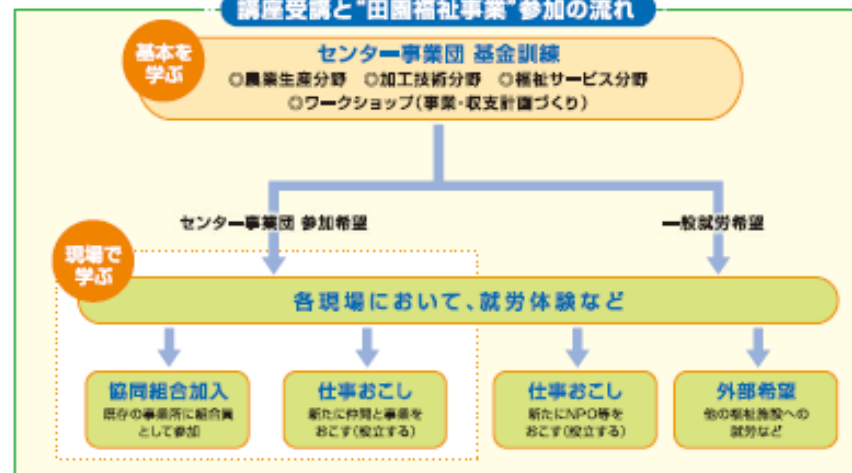
田園福祉事業がめざす元気な農村づくり



ぜひ、講座の受講を！そして「田園福祉事業」のメンバーに！

かながわセンター事業団「基金訓練講座(農村型地域福祉事業(介護)科)」は、「田園福祉事業」の新しい手となる、農業や福祉の技術を持つ人材を育成するために開設されました。人間にはさまざまな出会いやきっかけがあります。それがその人の人生を決める、方向づけることも決して少なくありません。私たちセンター事業団は「田園福祉事業」という取り組みがいのある事業、そこに参加するための技術講座の提供を、皆さんの大きな出会い、きっかけにさせていただきたいと考えています。社会への貢献と自分らしい働き方、ライフスタイル。そのすべてが納得のゆくものであるなら、こんなに幸福で気持ちの良いことはありません。そして今、あなたはここ大きな可能性の入り口に立っています。

講座受講と「田園福祉事業」参加の流れ



本講座はこんな方々におすすめします

福祉の仕事に興味のある方

- ◎介護やケアサービスなど、福祉の仕事に興味がある
- ◎福祉の仕事で資格を取りたいと考えている
- ◎複合的福祉拠点(まちづくり)を目指したい

社会に役立つ仕事をしてみたいと考えている方

- ◎地球や自然にやさしい仕事をしたい、してみたい
- ◎人のためになる仕事をしたい、してみたい
- ◎人に喜ばれる仕事をしたい、してみたい

農業や農産物の生産加工に興味のある方

- ◎無農薬や減農薬など、人と自然にやさしい農業をやってみたい
- ◎素材の良さを活かした農産加工品を作ってみたい
- ◎福祉と農業の融合した事業をやってみたい

気の合う仲間が欲しい、仲間と一緒に仕事をしたいと考えている方

- ◎いろいろな人と交流したい、気の合う仲間を見つかけたい
- ◎将来、仲間と一緒に仕事をしたい、始めたい
- ◎上下関係でわずらわしい思いをしたくない、仲間感覚で働きたい
- ◎今までの働き方に不満や疑問がある、もっと自分らしく働きたい

労協センター事業団 神奈川支店

〒231-0014 神奈川県横浜市中区常盤町1-2 関内SEビル4F TEL.045-650-5661 FAX.045-650-5662



中央職業能力開発協会 緊急人材育成支援事業

基金訓練 受講生募集のご案内

募集締め切り 2月4日(金)まで

認 22-14-04-21-0825

受講生募集

社会的事業者等訓練コース（社会的事業コース）

農村型地域福祉事業（介護）科

訓練期間：平成23年3月9日(水)～平成23年9月2日(金)

受講時間：9：30～16：30

面接：平成23年2月8日(火) 10時から

定員：20名

受講料：無料 ※但し、テキスト代（7500円程度）+交通費

訪問介護員2級取得のための基礎知識を取得し、即戦力となり就労できる技術を訓練し、併せて農業・米粉パンの製造に関する基礎知識及び実習を行い、複合的な福祉事業を展開できる知識と技術を身につける講座です。高齢化が進む農業を支援していくことを目的とし、介護福祉と農業とを結びつけてまちづくりに取り組んでいきます。

★特長★

◎私たちは働く人、市民が出資、経営し働く協同組合です。高齢者・障害者・若者など様々な人々が支えあい、共に働く職場作りを通じて、地域の必要に応える仕事おこしをおこないます。

- 人間関係スキルの向上を図り、対人サービスの基礎を構築
- 福祉関連の基礎知識と技術を学び訪問介護員2級の資格が取得できます。
- 農業の実践体験学習
- 米粉パンの製造基礎知識の実習
- 社会的事業者への就労を目指す。

訓練のお申し込み・ご相談

最寄りのハローワーク(公共職業安定所)にて案内をご提示の上受付・ご相談の後、当校へ面接申し込みの旨、下記番号までお電話ください。

※ハローワークの受付が無い場合はお受けできません。

労協センター事業団神奈川事業本部 関内教室 講座担当まで

電話 045-650-5661 FAX 045-650-5661

URL: <http://www.roukyou.gr.jp/> Email: kngwb@roukyou.gr.jp